

パチスロプレイヤー調査2020 調査報告書

[公開版]

2021年3月8日



一般社団法人
日本遊技関連事業協会

調査概要

- 調査目的：
 - ① 5号機から6号機への移行が進む中で、パチスロの「参加人口」「参加率」「頻度」「満足度」の経年変化を確認し、遊技者の動向や考え方を把握する
 - ② 6号機の遊技状況や遊技者評価、および遊技者が求める今後の6号機を探索する
 - ③ 今年の事象(新型コロナウイルス・パチンコ店の禁煙・分煙化など)における影響度合いを把握する
 - ④ パチスロ参加人口の維持・拡大に繋げるための施策を導き出す基礎資料とする

- 調査対象： 18歳～79歳の男女
- 調査地域： 全国
- 調査方法： インターネットリサーチ
- 調査時期：
 - 【事前調査】 2021年1月8日（金）～ 1月12日（火）
 - 【本調査】 2021年1月13日（水）～ 1月17日（日）
- 有効回答数：
 - 【事前調査】 10,000サンプル
 - ※回収した60,000サンプルの内、全国の人口構成に合わせた10,000サンプルを用い、パチスロ遊技者/休止層の性年代構成を算出。本調査データの性年代構成をウェイトバック集計にて調整。
 - 【本調査】 現行プレイヤー層 1,536サンプル
休止者層 465サンプル
 - ※上記事前調査にて出現した、現行プレイヤー層・休止者層の性年代構成に合わせてウェイトバック（WB）集計を実施

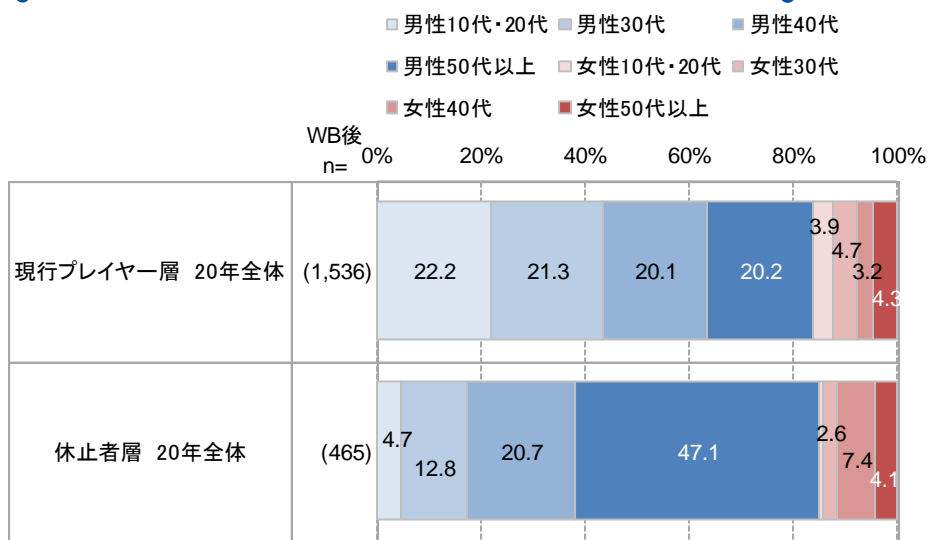
用語の解説

■ 本報告書内の用語解説

用語	詳細
SA MA	SAとはシングルアンサー/単一回答（回答はひとつ） MAとはマルチアンサー/複数回答（回答はいくつでも）
満足度TOP2 満足度BTM2	満足度TOP2とは「満足」「やや満足」の合計値 満足度BTM2とは「やや不満」「不満」の合計値
高頻度層	「週1回以上」の遊技頻度でパチスロを遊技している者（週単位）
低頻度層	「年1回」から「月2～3回」の頻度でパチスロを遊技している者（月単位）
低頻度_離脱予備層	低頻度層のうち、直近半年間でパチスロを遊技していない者
休止者（休止ユーザー）	「最近1年」以上遊技していないパチスロ経験者（休眠層と同意）
若年層	10代～20代→18歳～29歳までの年齢層
中年層	30代、40代→30歳～49歳までの年齢層
高齢層	50代以上→50歳以上の年齢層
プレイヤー	遊技経験のある者、遊技者・ユーザーと同意 例：現プレイヤー（現遊技者と同意）
貸玉料金	「遊技料金」「貸玉」「貸玉料」「貸メダル」「貸メダル料」「貸メダル料金」 など同意

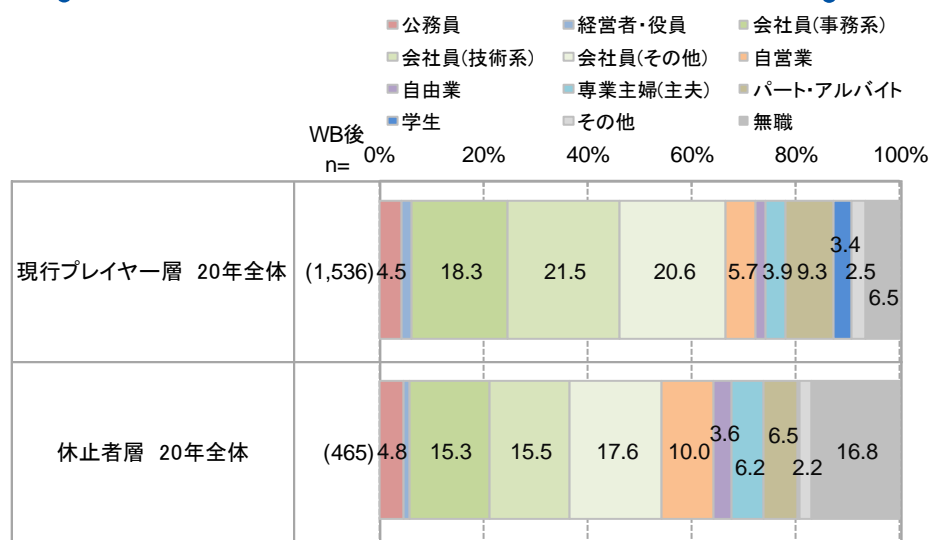
回答者プロフィール

性年代



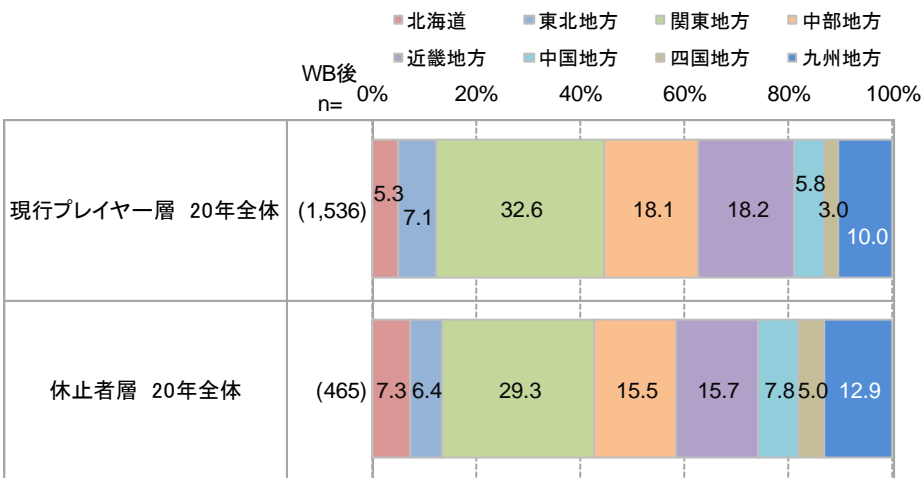
※2%未満のスコアは非表示

職業



※2%未満のスコアは非表示

地域



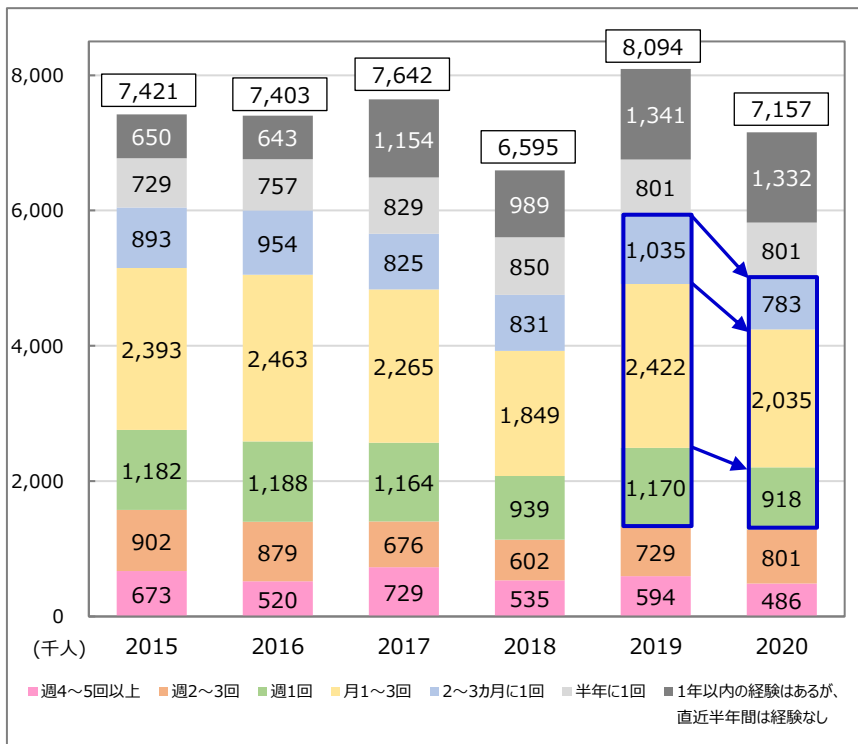


パチスロプレイヤー調査総括

総括①/経年データ

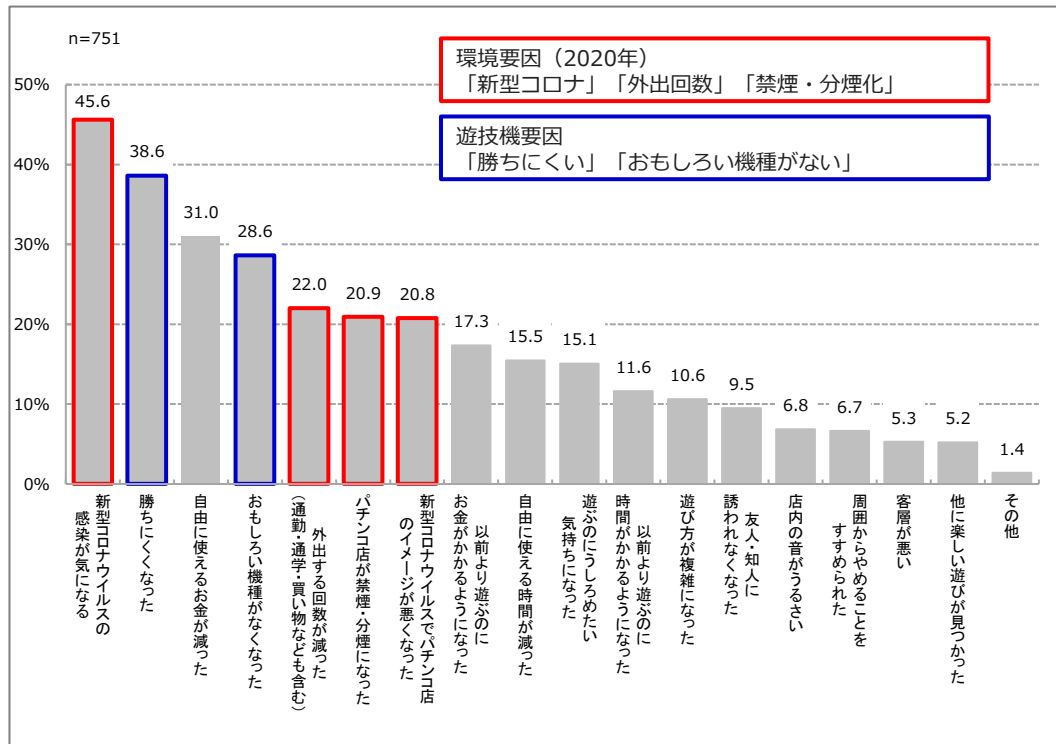
パチスロ参加人口

※【現行プレイヤー層】(年1回以上)



以前より「遊ぶ回数が減った」理由

※【現行プレイヤー層】(2~3カ月に1回以上)パチスロの遊技回数が2019年より減った遊技者



■パチスロ参加人口

年1回以上の参加人口は2020年で約716万人(前年比で約94万人減)。頻度別では「週1回」から「2~3カ月に1回」が約89万人減少、離脱予備層となる「直近半年はなし」は2年連続で130万人以上となった。一方、週2回以上の参加人口は4万人減程度で大きな変化はない。

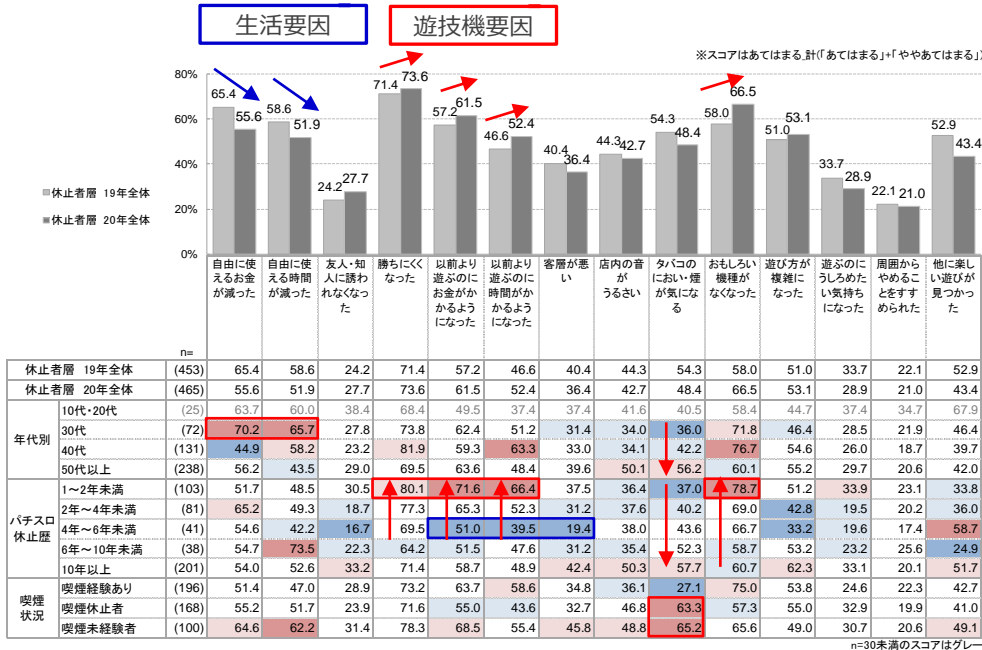
■以前よりも遊ぶ回数が減った理由

「新型コロナの感染が気になる」が4割以上で最も高かった。それに付随した環境要因では「外出回数の減少」「イメージ悪化」が2割程度。2020年4月からの「禁煙・分煙化」も2割程度が減った理由と回答している。その一方で「勝ちにくい」「おもしろい機種がない」といった遊技機に関する要因が上位となっている。2020年は、新型コロナ感染拡大の影響、パチンコ店の禁煙・分煙化、新規則機への移行(旧基準機の撤去)が主な減少要因と推察される。

総括② / 休止者層の深堀分析

パチスロで遊ばなくなった理由

※休止者層（やめる直前の1年間の頻度：週1回以上対象）



パチスロ再開の条件

※休止者層（やめる直前の1年間の頻度：週1回以上対象）

再開条件	WB後 n	0%	20%	40%	60%	80%	100%	あてはまる計	前年比
自由に使えるお金が増えたら	(258)		26.9	20.7	22.8		29.6	47.6	0.1
自由に使える時間が増えたら	(241)		19.9	26.4	24.1		29.6	46.3	-1.8
友人・知人に誘われるようになったら	(129)	11.1		31.0	20.6		37.3	42.1	9.9
勝ちやすくなった	(342)		42.5		27.6	13.8	16.1	70.1	7.6
以前より遊ぶのにお金がかからなくなったら	(286)		28.4		31.9	15.0	24.7	60.3	3.9
以前より遊ぶのに時間がかからなくなったら	(244)		20.2		28.9	20.0	30.9	49.1	2.6
客層が良くなった	(169)		20.0		33.5	19.1	27.4	53.5	0.4
店内の音がうるさくなくなったら	(198)		21.8		28.2	21.7	28.3	50.0	0.7
タバコのおい・煙が気にならなくなったら	(225)		36.8		25.6	12.1	25.6	62.4	3.4
魅力のあるパチスロ台が打てるようになったら	(309)		32.0		34.6	13.2	20.2	66.6	8.1
遊び方がわかりやすくなった	(247)		25.7		35.6	17.3	21.4	61.3	10.7
遊ぶのにうしろめたい気持ちにならなくなったら	(134)		22.3		30.5	19.0	28.1	52.8	1.5
遊ぶのを周囲から反対されなくなったら	(98)		24.8		26.0	25.8	23.5	50.7	4.3
他の遊びに飽きたら	(202)		18.2		27.9	26.6	27.2	46.1	9.9

生活要因は低下 … 「使えるお金が減った」「使える時間が減った」
遊技機要因は上昇 … 「勝ちにくい」「お金がかかる」「時間がかかる」「おもしろい機種がない」など

「勝ちやすい」「タバコのおい・煙が気にならなくなる」
「魅力のあるパチスロ台」が前年同様に上位

■パチスロをやめた理由

「勝ちにくい」は休止者全体で7割以上、時期別で見ると「1~2年前」が約8割で最も高い。前年よりも「使えるお金や時間が減った」といった生活要因は低下する一方、「勝ちにくい」「お金がかかる」「時間がかかる」「おもしろい機種がない」といった遊技機要因は上昇した。また、直近の休止者ほど遊技機に関する要因が高い傾向にある。

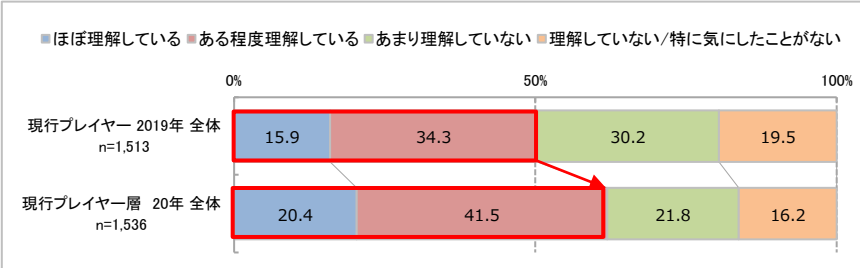
■パチスロ再開の条件

パチスロの再開条件にあてはまるものとして、「勝ちやすい」「タバコのおい・煙が気にならなくなる」「魅力のあるパチスロ台」が前年同様に上位となった。前年と比較すると再開条件としてあてはまる割合は上昇している。

総括③/トピック調査①

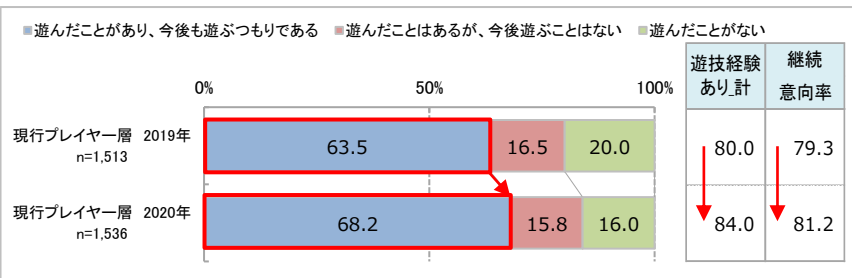
5号機～6号機の機種理解度

※現行プレイヤー層（2～3カ月に1回以上）



理解度は10ポイント以上上昇

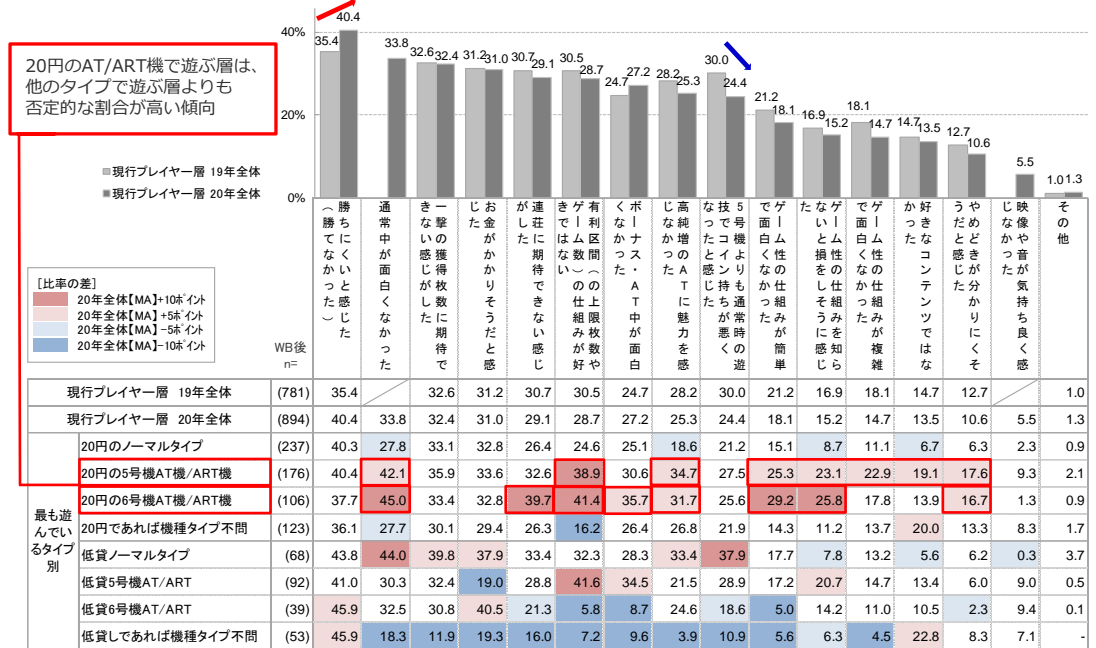
主要な6号機AT機の遊技経験



6号機経験は4ポイント上昇。継続意向率も高水準を維持

主要な6号機AT機の非継続遊技意向の理由

※【現行プレイヤー層】（2～3カ月に1回以上）いずれか1台以上の6号機AT機のプレイ経験者かつ非継続プレイ意向者ベース



■5号機～6号機の機種理解度

6号機の理解度は2019年から2020年にかけて10ポイント以上上昇し、6割以上になった。

■主要な6号機AT機の遊技経験

6号機ATの「遊技経験」は前回よりも4ポイント上昇し、84%が経験ありと回答。「継続意向率」はやや上昇し、8割以上となった。6号機ATで遊ぶ層には、引き続き一定の支持があると考えられる。

■6号機の非継続遊技意向の理由

今後遊技しない理由として「勝ちにくい」が5ポイント上昇し、最も高い。2番目に「通常中が面白くない」となった。

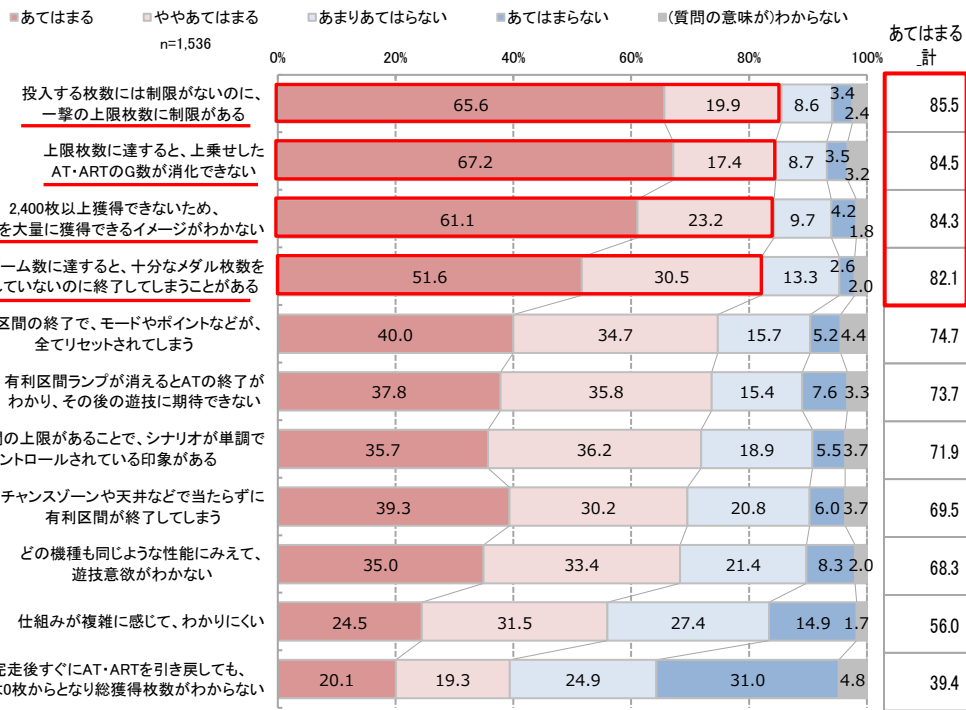
「一撃に期待できない」「お金がかかりそう」「連荘に期待できない」「有利区間が好きではない」が3割前後で、このことが「勝ちにくい」に繋がったと推測される。

20円のAT/ART機で遊ぶ層は他のタイプで遊ぶ層よりも否定的な割合が高い傾向がある。

総括④/トピック調査②

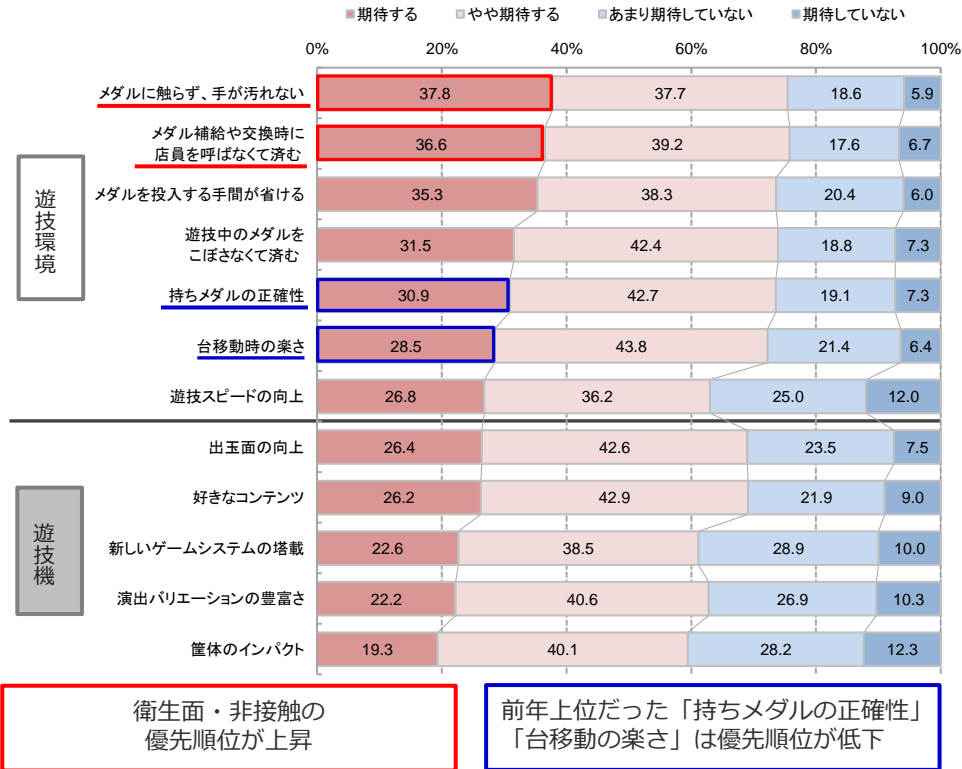
一撃の出玉と有利区間の上限「納得できない」理由

※【現行プレイヤー層】（2～3カ月に1回以上）



メダルレスパチスロで遊ぶ際に期待するもの

※【現行プレイヤー層】（2～3カ月に1回以上）



■一撃出玉と有利区間の上限「納得できない」理由

「一撃の上限に制限がある」「上限枚数に達すると、上乗せG消化ができない」「大量獲得のイメージがわからない」「上限ゲーム数に達すると、十分に獲得できず終了する」が8割以上となった。上限枚数2,400枚の制限に対する不満が大きい。

■メダルレスパチスロで遊ぶ際に期待するもの

遊技環境の面で最も期待が高かったのは「手が汚れない」、以下「店員を呼ばなくて済む」「投入の手間が省ける」の順で高かった。前回の調査では「持ちメダルの正確性」が最も高かったが、優先順位が低下した。新型コロナの影響もあり、衛生面や店員との非接触が優先順位として高くなったと考えられる。

考察と今後の対策

【経年データ】

2020年のパチスロ参加人口は715.7万人(前年比で約94万人減)となり、大幅に減少した。

この要因としては新型コロナウイルス感染拡大が大きいと考えられる。特に参加者の中でも「直近半年はなし」の130万人以上は新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きいと推測され、今後の離脱に懸念が残る。前年の調査では2019年末の旧基準5号機撤去で遊技をやめたいと回答した層がいたことから、新規則機への移行(旧基準機の撤去)も参加人口減少の要因の一つになったと考えられる。

【休止者層の深堀分析】

休止直前の遊技頻度について「年に1回以下」が4割以上で、低頻度からの離脱が多い。止めた理由では、休止歴が直近であるほど「勝ちにくい」「お金がかかる」「おもしろい機種がない」の回答割合が高い。再開条件では「勝ちやすい」「魅力あるパチスロ台」「タバコのおい・煙の改善」が上位となった。ゲーム性や出玉仕様、勝ちやすさの改善が再開条件として必要だが、嫌煙での休止者はパチンコ店の禁煙・分煙化が理解・浸透されることで、再開に繋がる可能性がある。

【トピック調査/2020年の質問分析(6号機の継続調査)】

6号機の理解度は6割以上に上昇したが、5号機と比べると理解度は低い。

遊技経験と継続意向率について、主要な6号機ATはそれぞれ8割以上と前年よりも上昇した。主要な6号機ATで遊ぶ層には、引き続き一定の支持があると考えられる。

6号機の遊技理由として「一撃の獲得枚数」が最も高く、「高純増AT」「天井機能」「やめどき」が前年より上昇した。6号機特有のゲーム性が浸透した部分も見受けられる。一方、6号機で継続して遊びたくない理由として「勝ちにくい」が4割以上で最も高かった。20円AT/ARTで遊ぶ層ほど6号機特有のゲーム性(有利区間の仕組みや高純増ATなど)に否定的な割合が高い。

一撃出玉と有利区間の上限に納得できない理由として、上限枚数2,400枚の制限に関する項目で不満が高かった。

【今後の対策】

6号機への理解が深まるにつれて遊技経験や継続意向の割合が高くなったが、20円AT/ARTを中心に遊ぶ層ほど6号機特有のゲーム性に対して遊びたくないと回答する割合が高く、一撃の出玉や有利区間の上限などに対する勝ちにくさが不満要素となっている。

またパチスロ参加人口の減少は新型コロナウイルス感染拡大による環境要因の影響も大きいことから、参加人口を回復するためには、現状の6号機の不満要素となっている出玉性能やゲーム性の仕組みを改善することや、衛生面で期待されるメダルレスパチスロなどで安心して遊技できる環境を提供することが必要となってくる。

一般社団法人 日本遊技関連事業協会

【協力】

日本電動式遊技機工業協同組合

日本遊技機工業組合 回胴部会

株式会社 エンタテインメントビジネス総合研究所

株式会社 シーズ

【問い合わせ先】

株式会社 エンタテインメントビジネス総合研究所

〒110-0016 東京都台東区台東1-14-11 藤野ビル2階

電話：(03) 5289-4751 FAX：(03) 5289-4752

E-mail：info@eb-i.jp

株式会社 シーズ

〒110-0015 東京都台東区東上野2-20-1 晴花ビル2F

電話：(03) 6806-0548 FAX：(03) 6806-0563

E-mail：info@sees.co.jp